



# SFPE・J ニュース 7号

2003年8月31日  
第2巻第3号(通巻7号)

Society of Fire Protection Engineers

Japan Chapter News

## 本号のハイライト

1

・汐留鹿島棟見学会報告

2

・臨時総会概要報告  
・NPO法人防火技術者協会設立総会  
・アンケート結果概要報告

3

4

・SFPE年次総会開催案内

5

・第18回安全計画シンポジウム開催案内

6

・Journal of FPEの概要

7

・FPE(機関誌)の概要

執筆

[ 富松・上原  
堀田 ]

防火技術者協会日本支部  
(略称:SFPE 日本支部)の  
情報をお知らせします

## 1. 汐留鹿島棟見学会 報告

4月22日(火)15:00より佐藤支部長の尽力で汐留開発地区の鹿島棟を見学しました。参加者は佐藤支部長、笠原、矢代、上原、水落、小林、河野、富松でした。案内は鹿島建設の方々に、現場を見ながらの懇切丁寧なものでした。

鹿島棟は下層がオフィスビル(1社専用ビル)で上階がホテルというもので、外気導入やエアフローに工夫があります。オフィスは2層を1単位として吹き抜けを介してつながる開放的なものとなっており、シートシャッターによる縦穴区画となり、煙層降下と避難シミュレーションを行っています。また外気が吹き抜けに導入されエレベーターホールから抜けるという、エアフローシステムとなっているとのことでした。見学時にはその効果の測定中であり結果が注目されます。



ホテルはこじんまりしたのですが、リッチな空間となり、客室にもサッシュ部分から外気が導入できるなどの工夫があります。きめ細かいデザインが特徴と言えるでしょう。

見学は内覧会参加という形式でしたが、システムチックなものでありかつわれわれのような専門家にも対応していただけるもので、大いに満足ゆくものでした、関係者に感謝します。

見学後、旧新橋駅の再現を見学して見学会を終えましたが、まだまだ汐留開発はみるべき建物が多く、再度見学会などを企画したい

というのが参加者の希望であったことを報告しておきます。



オフィスの吹き抜け

## 2. 臨時総会概要報告

6月5日にSFPE日本支部の臨時総会が開催されました。

日時: 6月5日(火)16:00~  
17:00

場所: 建築会館会議室

出席者: 出席20名、委任状29名  
定足数を満たし総会が成立した。

審議内容:

- (1)SFPE日本支部の資産のNPO法人への移管について
- (2)現会員、会友のNPO法人への移行について
- (3)SFPE日本支部の活動に関するアンケート結果の中間報告

NPO法人は、SFPE日本支部会員と一般市民で構成される。

今後、SFPE日本支部は任意団体として存続するが、会費の徴収はせず、実費をその都度徴収することになる。会費の徴収は、NPO法人のみが行う。

「SFPE日本支部の試算をNPO法人日本技術者協会へ移管すること」及び「現会員、会友のNPO法人へ移行すること」が承認された。

「SFPE日本支部の活動に関するアンケート結果の概要」が上原理事より報告された。



臨時総会の全景



## 2.1 特定非営利活動法人 (NPO 法人)日本防火技術者 協会設立総会

日時：6月5日  
場所：建築会館会議室  
出席者：出席21名  
審議内容：

- (1) 議長及び議事録署名人の選任
- (2) NPO 法人日本防火技術者協会設立について
- (3) 同協会の定款について
- (4) 設立当初の役員について
- (5) 事業計画及び収支予算について
- (6) 設立当初の入会金及び会費につ

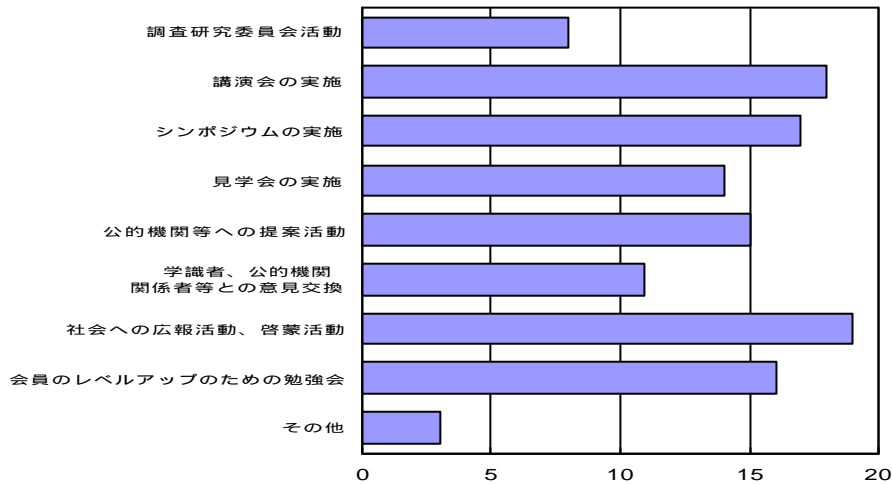
いて  
(7) 確認書の確認について  
(8) 法人設立認証申請について  
6月17日に東京都に申請を行うことが承認され、認可の手続きを経て、秋には認可が下りる予定です。

## 3. アンケート結果 概要報告

SFPE 日本支部の今後の活動に関するアンケート調査の概要を報告します。下図を参照願います。

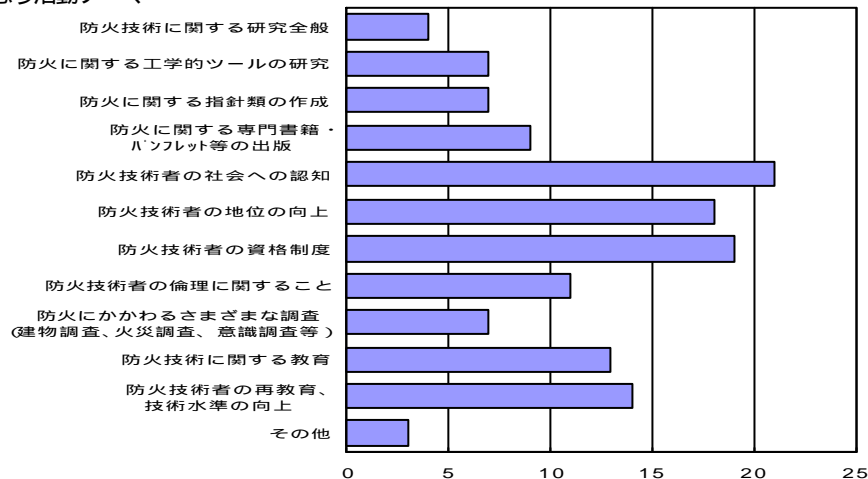
アンケート回答数：26名  
この結果に基づき、下記のWGの立ち上げを準備中です。  
・社会認知WG（矢代、堀田）  
・資格制度WG（富松）  
・教育WG（原田）  
・ホームページWG（関沢）  
（ ）内は、担当理事WG参加メンバーを募集中です。事務局までふるってご連絡願います。

### 1. SFPE日本支部の活動として実施した方が良いと思う活動ジャンル



SFPE日本支部として実施した方が良いと思う活動ジャンル

### 2. SFPE日本支部の活動として実施した方が良いと思う活動テーマ



SFPE日本支部として実施した方が良いと思う活動テーマ



## 4. SFPE 年次総会 開催案内

### 4.1 年次総会で関沢理事が表彰される

メリーランドのボルティモアで開催予定の SFPE 年次総会において、SFPE 日本支部の関沢理事が表彰されることになりました。日本支部設立のそのご尽力を評価されてのことです。当日は、出席の予定で、年次総会の様子とともに、報告を期待しております。

### 4.2 SFPE 年次総会の 予定(Baltimore, MD)

9月28日 理事会

9月29日～10月3日

SFPE 年次総会並びに専門家開発会議

- ・年次総会デー：SFPE Handbook に焦点をあてて
- ・SFPE年間賞及び名誉授賞式と晩餐会
- ・防火会議の予定
- ・防火エンジニアリングの原則
- ・防火技術者のためのスプリンクラー設備設計
- ・NFPA 72 と 13, 2002 への変更
- ・埃の爆発 - 危険の認識、評価及び運用
- ・Fire Dynamics のシミュレーターと煙予測
- ・FPE/P.E.Exam. (防火技術者試験のための学習法)
- ・煙制御のための Tenability システム

## 5. 第18回安全計画 シンポジウム開催案内

避難安全のバリアフリー計画

主催：日本建築学会 建築計画委員会・安全計画小委員会

後援：日本火災学会

後援：防火技術者協会

(SFPE) 日本支部

主題：避難安全のバリアフリー計画

会場：大阪ビッグ・アイ

(国際障害者交流センター)

<http://www.big-i.jp/>

住所：大阪府堺市茶山台1丁8-1

TEL：072-290-0900

FAX：072-290-0920

泉北高速鉄道・泉ヶ丘駅下車

新大阪駅から約55分

・関西空港から約1時間

日時：10月28日(火)10時30分

～17時00分

見学会：10時45分集合

11時開始～12時15分終了

見学会開始前に設計者から概要説明

講演・討論：13時15分～17時

(主題解説と討論：13時20分～17時)

第一部：見学施設について

1) 防災計画について

(浦井雅昭：日建設計)

2) モックアップ等による施工

時・竣工後の検証実験

(田中直人：摂南大学)

第二部：「避難安全のバリアフリー計画(指針)」に関する経過報告

1) バリアフリー計画の全体構成

(掛川秀史：清水建設)

2) 情報受送信のバリアフリー

(林 広明：大成建設)

3) 避難経路移動のバリアフリー

(水落秀木：清水建設)

4) バリアフリーに関わるデータベース(林 広明：前掲)

第三部：質疑応答と総合討論

参加費：

建築学会正会員(一般)・共催

後援団体会員 3000円

同・学部生(準会員・学生会員等) 1500円

会員外(一般) 3500円

同・学部生 2000円

定員：90名(申込先着順)

申し込み方法

事前申込(定員に満たない場合は当日受付可)

「安全計画シンポジウム申込」と明記し、氏名・勤務先名称(および FAX 番号・同電話番号)を記入して、電子メールか FAX にて申込先に連絡ください

期限：10月27日(月)まで

申込先：志田弘二(名古屋市立大)

電子メール：shida@sda.nagoya-

cu.ac.jp

FAX：052-721-5284

## 6. Journal of FPE の概要

### 6.1 Vol.12 No.4, 2002

195 Editorial

(編集委員会からのお知らせ

次号から編集委員長が Dr.

Alpert に交替する。)

197 Probability of Failure with

Time for Wood Framed Walls

in Real Fire (実火災における

木造枠組壁の崩壊時間の確率

分布), P. Clancy.

225 Performance Design of Low-

rise Sprinklered Shopping

Centers for Fire Safety(スプリンクラー設置の低層ショッピングセンターの火災安全性能設計),

I.D. Benetts and I.R. Thomas.

245 Evaluation of Exterior

Insulation and Finish System

Fire Hazard for Commercial

Applications(物販用途における

外壁の断熱と仕上げ材の火災危

険評価), R.L. Alpert and R.J. Davis.

259- Letter to the Editor,

Response to the Letter to the

Editor, Thanks to Reviewer,

Index. (編集委員会への投書と

回答、目次)

### 6.2 Vol.13 No.1, 2003

5 SFPE Classic Paper Review:

The Size of Flames from

Natural Fires by Philop Thomas,

G. Cox.(古典的論文の SFPE 比

較)-実火災における火災規模)

11 CFD Fire Simulation Using

Mixture Fraction Combustion

and Finite Volume Radiative

Heat Transfer (燃焼混合比と有

限体積放射伝熱を用いた CFD

火災シミュレーション),

J.E. Floyd and et al.

37 ASET-B: Comparison of Model

Predictions with Full-scale

Test Data(実火災実験データ

と ASET-B モデル予測との比較),

M.J. hurley.

67 Recollection, Identification

and Perceived Urgency of the

Temporal-Three Evacuation

Signal(3種類の避難誘導シグナル

に関しての情報整理・特定と

今日的課題),

G. Proulx and C. Laroche.



## 6.3 Vol.13 No.2, 2003

- 87 An Updated International Survey of Computer Models for Fire and Smoke(火災及び煙に関する最新の国際的なコンピュータモデルの調査報告), S. M. Olenik and D. J. Carpenter.
- 111 Effectiveness of High-Capacity Smoke Exhaust in Large Spaces(大空間における大容量排煙の効果), J A Milke.
- 129 Review of Recent Developments in Fire Detection Technologies (火災感知技術における最近の研究開発のレビュー), Z. Liu and A. K. Kim.

## 6.4 Vol.13 No.3, 2003

- 157 Implementing a Glass Fracture Module in the BRANZFIRE Zone Mode(BRANZFIREゾーンモデルにおけるガラス破砕モジュールの追加), R. Parry, C.A. Wade and M. Spearpoint
- 185 Fire Protection in Agricultural Facilities : A Review of Research, Resources and Practices(農業施設における防火: 研究、資源、及び実務), D. A. Torvi.

## 7. Fire Protection Engineering (SFPE 機関誌) の概要

### 7.1 Fall 2002

- 6 COVER STORY  
A Selected Historical Review of Human Behavior in Fire(火災時の人間行動に関する歴史的なより抜いたレビュー), Dr. John L. Bryan.
- 3 Viewpoint(視点)
- 4 Flashpoints
- 16 Building, Expectations: Managing Fire Safety by Putting People back in the Picture(建物、期待: 絵画に見る火災安全のマネジメント), Mark Chubb.
- 23 Speech Intelligibility(会話のわかりやすさ), A supplement by National Electrical Manufacturer's Association.

- 28 Tools for the Simulation of Human Behavior(人間行動のシミュレーション・ツール), Rita F. Fahy, Ph.D.
- 33 Cool under Fire(火災下の冷却), Guylene Proulx, Ph.D.
- 37 Life Safety, Fire Protection, and Mobility-Impaired(人命安全、防火、身体障害者), Brian D. Black.
- 44 Products/Literature.
- 44 Products/Literature.
- 47 SFPE Resources
- 50 Brainteasers/Corporate 100 / Ad Index
- 52 From the Technical Director Morgan J. Hurley, P.E.

### 7.2 Winter 2003

- 8 COVER STORY  
Making An Impact: Fire Protection Engineers and the Design Process(衝撃を与えたもの: 防火技術者と設計プロセス), Andrew Bowman.
- 15 The Role of Post-Secondary Education in Advancing the Science and Practice of Fire Protection Engineering(防火工学の科学と実務の進歩: 資する二次以上の教育の役割), David A. Lucht, P.E..
- 22 An FPE on a Licensing Board: One Person's View(認可委員会における防火技術者: 一個人の視点), Michael A. O'Hara, P.E.
- 30 Engineering Failure, or Failure to Engineer?(工学上の失敗なのか、工学しない故の失敗か?), A supplement by National Electrical Manufacturer's Association.
- 33 Human Capital in Fire Protection Engineering Consulting: Human Resource Challengers Faced by Managers of FPE  
- 関係者のコンセンサス作成のための統計的比較対照フレームワーク), Edward L. Fixwn P.E.
- 44 Products/Literature.
- 46 SFPE Resources
- 50 Brainteasers/Corporate 100 / Ad Index
- 52 From the Technical

Director  
Morgan J. Hurley, P.E.

### 7.3 Spring 2003

- 6 COVER STORY  
Building Performance Under Fire Exposure(火災にさらされた建築物の性能), James Milke, Ph.D., P.E.
- 3 Viewpoint
- 4 Flashpoints
- 19 Restructuring Confidence in the Fire Safety of Buildings(建築物の火災安全における信頼度の再構築), Robert Berhinig, P.E.
- 24 Consequences of An Imperfect Insulation - Numerical Modeling(不完全な断熱が及ぼす結末 - 数値モデル), Jean-Marc Fransen, Ph.D.
- 34 Accuracy, Precision, Resolution and Uncertainty in Fire Protection Engineering(防火工学における正確さ、精度、解像度、不確実性), National Electrical Manufacturer's Association.
- 37 Calculating Structural Response to Fire(火災に対する構造的応答の計算), Robert H. Iding, Ph.D.
- 46 Integrating Structural Fire Protection Into The Design Process(設計プロセスへと構造耐火設計との総合化), Harold A. Loche, P.E.
- 52 SFPE Resources
- 56 Products/Literature.
- 58 Brainteaser/Ad Index
- 60 From the Technical Director Morgan J. Hurley, P.E.